

平成27年入込観光客総評

平成28年6月 箱根町企画観光部観光課

平成27年の入込観光客は、大涌谷周辺の火山活動の活発化による影響を大きく受け、当町にとっては大変厳しい1年となった。

入込観光客総数は、17,376千人（前年比82.0% 3,814千人の減）と前年を大きく下回る結果となった。その内訳は、宿泊客が3,665千人（前年比79.6% 942千人の減）、日帰り客が13,711千人（前年比82.7% 2,872千人の減）となっている。

1 宿泊客について

施設形態別に見ると、旅館・ホテルは3,145千人（前年比81.3% 722千人の減）、寮・保養所が462千人（前年比68.2% 216千人の減）、そして、その他の施設（民宿、国民宿舎、ユースホステル、ペンション及びキャンプ場）が58千人（前年比94.7% 3千人の減）と全ての施設形態において、前年を下回る結果となった。

一般客は、3,283千人（前年比75.6% 1,061千人の減）と前年を下回ったものの、外国人観光客は378千人（前年比173.8% 160千人の増）と大幅に増加した。また、修学旅行生については5千人（前年比10.8% 41千人の減）と大きく減少した。

一般客及び修学旅行生は、大涌谷周辺の火山活動により噴火警戒レベルが引き上げられた5月以降、大きな影響を受ける結果となった。一方で、外国人観光客については、2015年の訪日外客数とその伸び率が、ともに過去最高となったことが当町にも波及し、大きく増加した。

2 日帰り客について

日帰り客は、宿泊客同様に大涌谷周辺の火山活動が大きな要因となり、前年を大きく下回った。噴火警戒レベルが引き上げられて以降、箱根を代表する観光スポットの一つである大涌谷への立ち入りが規制されたこと、それに伴い、箱根ロープウェイが運休、周辺のハイキングコースも通行禁止になるなどしたことが影響し、前年から大きく落ち込む結果となった。

3 月別入込み状況について

1月に行われた恒例の東京箱根間往復大学駅伝は、元旦から積雪があったこともあり、90回記念大会であった前年に比べ、沿道の観客は少ないようであった。2月は、前年は2度の大雪による記録的な積雪があったのに対し、本年は観光客の足に影響を与えるような大きな積雪はなく、反動増となった。4月、5月のゴールデンウィーク期間中は、天候にも恵まれ各地で賑わいが見られたものの、最終日である5月6日には、大涌谷周辺でやや活発な火山性活動が観測されたことから、噴火警戒レベルが「2」に引き上げられ、直後から問い合わせが殺到するなど影響が出始めた。6月30日には更に噴火警戒レベルが「3」に引き上げられ、立入規制エリアが広げられたことから、観光業を中心に影響が拡大することとなった。7月、8月は、当町の観光における繁忙期である夏休みシーズンであったが、家族連れへの影響も大きく、大幅な落ち込みとなった。9月は、11日に噴火警戒レベルが「2」に引き下げられたこともあり、シルバーウィークには町内の宿泊施設の予約がほぼ満杯となるなど回復傾向が窺えたものの、全般的には例年と比較すると寂しい状況であった。10月に入り、月を追って回復基調にある状況が感じられる中、30日には箱根ロープウェイが一部区間で運転を再開するなど、明るいニュースが報じられた。11月20日には、ようやく噴火警戒レベルが「1」に引き下げられ、ひとまず噴火に対する不安は払拭されたものの、大涌谷への立ち入り規制は継続しており、その影響は依然として解消されたとはいえない状況である。

なお、平成27年に最大の入込みがあったのは、夏休みの8月であり、次いで若者グループや外国人観光客が好調であった春先の3月、4月という状況であった。

4 まとめ

平成27年は、大涌谷周辺の火山活動により、大変厳しい1年となった。特に「噴火警戒レベル」の運用が開始されて以来、当町においては初めてレベルが引き上げられたことで、これまでに経験したことがない状況への対応が必要となったとともに、火山活動の影響が非常に長期に渡ったことも入込客減少の大きな要因となった。

そのような中、国や県、町内の観光関係団体、民間事業所等、官民を挙げて、まずは火山活動に関する正確な情報を提供しつつ、観光客の安全を第一に考え、万が一に備えた連携体制、避難計画等の整備にも取り組んだ。

また、箱根を応援していただいた観光客の皆さま、姉妹都市である洞爺湖町や、岩手県・洋野町、近隣自治体をはじめとした関係団体等からも厳しい状況にあった当町へ多大なる支援をいただいた。

更に、円安、ビザの大幅緩和、消費税免税制度の拡充などの好要因を背景に、日本を訪れた外国人客が過去最高を記録した。当町においても、インバウンドにおける主要市場である中国、台湾に対してのプロモーションを通じ、火山活

動に関する正確な情報提供を行うなどしたこともあり、入込数は顕著な増加を示し、大きな下支えとなった。

これらの国内、海外に向けた取り組みを実施するとともに、町内の関係団体や民間事業所等の入込観光客回復に向けた企業努力もあり、徐々に賑わいを取り戻しつつある。

平成28年は、火山ガス等の影響が依然として残る中、自然、歴史・文化、温泉、そして火山も含めた、他に代え難い当町の観光資源の魅力を改めて見直すとともに、それを支えてくれる「箱根ファン」へ感謝しながら、官民一丸となった各種の取組みを引き続き実施していくことで、この難局に対処していきたいと考えている。

平成27年 月別入込観光客数一覧

(単位:人)

施設区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	対前年比
旅館・ホテル	261,464	272,872	363,448	308,318	242,715	169,835	181,557	305,940	222,139	248,786	281,123	286,896	3,145,093	81.3%
(内数:一般客)	242,038	245,432	330,837	265,366	215,902	145,919	147,872	269,087	197,020	209,021	246,063	256,228	2,770,785	76.7%
(内数:外国人客)	19,426	27,440	32,208	42,606	24,911	23,297	32,907	36,820	25,119	39,343	35,007	30,372	369,456	175.7%
(内数:修学旅行者)	0	0	403	346	1,902	619	778	33	0	422	53	296	4,852	11.0%
民宿・国民宿舎 ユースホステル等	2,122	2,094	2,890	2,286	2,088	1,436	1,691	2,244	1,460	1,402	1,773	1,595	23,081	79.5%
(内数:外国人客)	423	548	680	844	574	544	908	857	564	581	566	579	7,668	112.6%
(内数:修学旅行者)	0	0	12	38	0	0	0	23	0	0	0	0	73	12.4%
ペンション	362	279	549	348	375	90	127	487	319	232	368	395	3,931	113.1%
(内数:外国人客)	2	0	2	6	2	0	0	9	0	2	4	0	27	128.6%
(内数:修学旅行者)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
キャンプ場・コテージ	1,230	919	3,088	2,044	3,781	1,416	2,486	6,347	3,806	2,324	2,071	1,547	31,059	107.8%
(内数:外国人客)	16	80	14	6	80	20	30	100	69	55	32	8	510	204.0%
(内数:修学旅行者)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
寮・保養所	43,996	33,891	56,256	50,276	44,431	28,476	21,256	39,717	27,595	32,148	42,058	41,967	462,067	68.2%
宿泊客計	309,174	310,055	426,231	363,272	293,390	201,253	207,117	354,735	255,319	284,892	327,393	332,400	3,665,231	79.6%
(内数:外国人客)	19,867	28,068	32,904	43,462	25,567	23,861	33,845	37,786	25,752	39,981	35,609	30,959	377,661	173.8%
(内数:修学旅行者)	0	0	415	384	1,902	619	778	56	0	422	53	296	4,925	10.8%
日帰客	1,020,730	910,551	1,370,534	1,296,651	1,241,618	933,264	936,116	1,455,863	1,036,113	1,101,956	1,324,590	1,082,783	13,710,769	82.7%
観光客総数	1,329,904	1,220,606	1,796,765	1,659,923	1,535,008	1,134,517	1,143,233	1,810,598	1,291,432	1,386,848	1,651,983	1,415,183	17,376,000	82.0%

過去10年間の観光客の推移

(1) 宿泊客数			平成17年	4,300,738
年	宿泊客数(人)	対前年比	対H17年比	対前年増減比(人)
18	4,618,012	107.4%	107.4%	317,274
19	4,722,093	102.3%	109.8%	104,081
20	4,727,069	100.1%	109.9%	4,976
21	4,525,157	95.7%	105.2%	△ 201,912
22	4,646,053	102.7%	108.0%	120,896
23	4,280,639	92.1%	99.5%	△ 365,414
24	4,631,951	108.2%	107.7%	351,312
25	4,716,936	101.8%	109.7%	84,985
26	4,606,751	97.7%	107.1%	△ 110,185
27	3,665,231	79.6%	85.2%	△ 941,520

(2) 日帰客数			平成17年	14,604,262
年	日帰客数(人)	対前年比	対H17年比	対前年増減比(人)
18	14,631,988	100.2%	100.2%	27,726
19	15,539,907	106.2%	106.4%	907,919
20	15,949,931	102.6%	109.2%	410,024
21	15,123,843	94.8%	103.6%	△ 826,088
22	15,389,947	101.8%	105.4%	266,104
23	13,390,361	87.0%	91.7%	△ 1,999,586
24	14,806,049	110.6%	101.4%	1,415,688
25	16,140,064	109.0%	110.5%	1,334,015
26	16,583,249	102.7%	113.6%	443,185
27	13,710,769	82.7%	93.9%	△ 2,872,480

(3) 観光客総数			平成17年	18,905,000
年	観光客総数(人)	対前年比	対H17年比	対前年増減比(人)
18	19,250,000	101.8%	101.8%	345,000
19	20,262,000	105.3%	107.2%	1,012,000
20	20,677,000	102.0%	109.4%	415,000
21	19,649,000	95.0%	103.9%	△ 1,028,000
22	20,036,000	102.0%	106.0%	387,000
23	17,671,000	88.2%	93.5%	△ 2,365,000
24	19,438,000	110.0%	102.8%	1,767,000
25	20,857,000	107.3%	110.3%	1,419,000
26	21,190,000	101.6%	112.1%	333,000
27	17,376,000	82.0%	91.9%	△ 3,814,000